



ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名	「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備
提案グループ名	美しが丘アセス委員会遊歩道ワーキンググループ
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月：美しが丘小学校の卒業式に合わせて「花の百段階段」飾りつけイベントの実施 ・平成27～28年度：青葉区区政推進課による「健康づくり歩行者ネットワーク」モデル地区整備計画の策定に協力（検討会議7回） ・平成25～27年度：美しが丘地区内遊歩道の下水道管更新事業の復旧整備に伴う意匠改善提案・調整 ・平成16年～現在：美しが丘アセス委員会による遊歩道調査・ユリノキ通り街路樹樹木医診断結果を踏まえた台帳・車両進入管理等及び地区計画区域内の事前建築調整等
整備場所の所在地	<p>青葉区 美しが丘 1・2・3 丁目</p> <p>※位置図及び現況写真を添付します。（各A4判1ページ）</p>
整備提案の内容 （どのような整備を提案するのか文章で記入してください）	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停に近い位置にある百段階段上り口部分の整備（空間修景・ベンチ・街歩き案内サインの設置等） ・丘の街ふるさとの記憶プロジェクト（①百段階段を標高定規と見立て標高タイルを埋込むとともに街なかの同一標高ポイントの車止め・階段手すり等に標高シールを貼付、②街歩きを楽しめる情報コンテンツの作成、③舗装状況に応じた改善、④上記の運営等に関連するワークショップの開催等） <u>整備費用の概算額：約500万円</u> <p>※整備提案イメージ図を添付します。（A4判2ページ）</p>
整備提案の動機や背景 （整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください）	<ul style="list-style-type: none"> ・当地区は、開発当初から歩車分離で安心して歩ける街として計画されており、わが国に歩行者専用道路を定着させるきっかけとなってきた経緯がある。 ・開発から50年が経過し、施設の老朽化が進み管理が行き届かない面が生じるなど、日中は住宅地内を歩く人も少なくなっていた。 ・青葉区「健康づくり歩行者ネットワーク事業」の対象地となったことを機に、再び歩行者専用道路に着目したまちづくりが進められるかと期待が高まった。 ・行政による整備に加えて市民の力を合わせ、この街で育つ子ども達にとって「ふるさと美しが丘」が「遊歩道のある街」として記憶に残る取組みを実現したい。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもからお年寄りまで多くの人々が利用しやすく歩きやすい道として、より気軽に健康づくりに親しめる空間となる。 沿道の国学院幼稚園、美しが丘小学校などの子ども達にとって、地域の大人たちに見守られて育ったという記憶に残る道となる。 公共空間のリニューアルに向けた先駆的な取り組みの実験場として、次世代の公共施設管理ノウハウの蓄積を図ることが出来る。 多世代交流の活性化及びまちづくりの担い手を育み・継承できる環境を実現する。
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当提案グループは公募によるメンバー募集から発足したが、現在、地域住民・幼稚園・小中学校の生徒やPTAの協力を得てサポーターを増やす取り組みを始めている。整備後は現組織を発展させ、「(仮称)百段階段活用委員会」を立上げる予定。 整備後も維持管理を兼ねて、標高シールの貼替ワークショップやまち歩きコンテンツの利用体験ツアーの開催などを想定。 美しが丘小学校開校50周年(2019年度)行事に協力・参加予定。
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や美しが丘中学校の生徒と共に3年間取組んできたAOBA+ARTの『緯度経度プロジェクト』(「地点」から地球を感じる取組み)と連携し、X・Y軸(緯度経度)のエピソードにZ軸(標高)の情報を関連づけることにより、丘の街の起伏を頭と体で感じる新しい街歩き体験を作り出す。 特に地域で一番低い標高から高い標高(標高差約40m)まで最短で達することができる「百段階段」は、丘の街を象徴できる路線であることに注目。 標高タイルの埋込み時に周辺の施設劣化状況に応じた改善を想定。 標高シールには情報端末などを活用して街歩きを楽しめるコンテンツ(写真スポット・AOBA+ARTの取組み紹介・街の記憶情報等)を紹介するURL情報を示す。 当提案グループには建築関係の専門家も多く、魅力的な空間づくりにつながる具体的な提案が可能。 上記活動を通じて希薄になりがちな郷土愛を育てる。この事業は郊外住宅地ならではの新しいふるさと像づくりの取組みとなる。

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。・バザーなどで資金を集められそう。

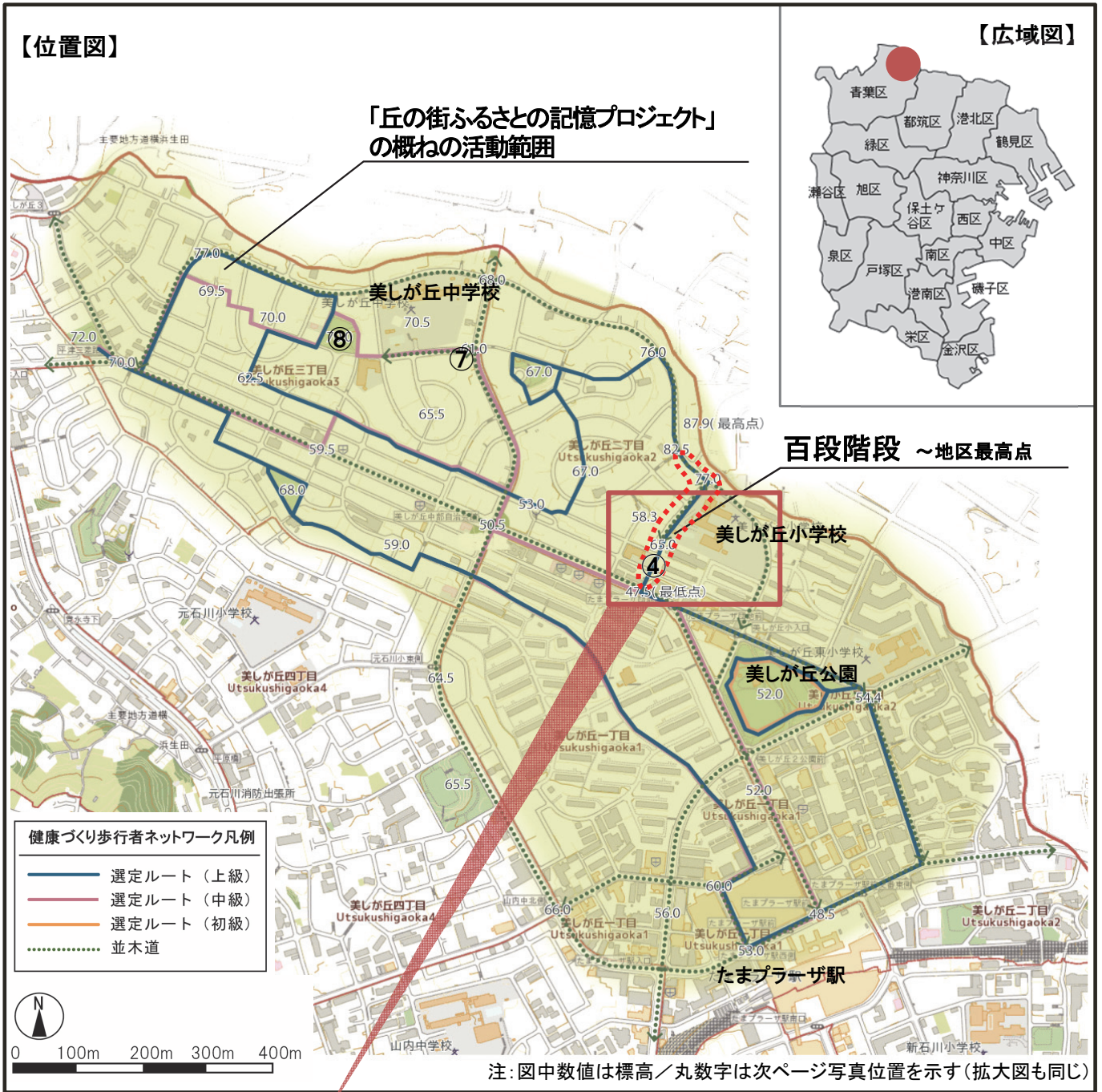
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
<ul style="list-style-type: none"> 青葉土木事務所 国学院幼稚園及び美しが丘小学校 「百段階段」～最高部の沿道住民の皆さん 	<ul style="list-style-type: none"> 概ねの方向性について共有化できた 近隣とのトラブル等が起きないように配慮願いたい

注5)土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報が含まれていません。

■「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備 位置図



■「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備 現況・活動写真

【普段の百段階段と丘の街の街並み・公園】〈番号は前ページ図上位置を示す〉



閑散としており、歩く人の足取りも重い



築後50年が経過し一部でコンクリートや舗装材の劣化もみられる



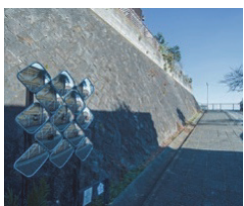
【街のイベントや沿道の小学校の行事における活用時の様子】

●AOBA+ART2015での作品/取組み



AOBA+ARTは2008年から続く美しが丘住宅地を会場としたART活動

2015作品「100段にイロドリを」では、カラフルな階段に思わず走りだす子ども達も…



美しが丘中学校で「街のはなし」講義

「みちの名前」を考えるプロジェクトでは遊歩道の名前を考えた



●美しが丘小学校の卒業生を祝う「花の百段階段」飾りつけイベント



鉢植えの飾りは児童クラブと地域住民の手作りによるもの



■「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備 整備提案イメージ図(1/2)

◆街なかの名所紹介 <地域全体>

- ・百段階段の標高タイ尔で紹介する街なかの名所を選考
- 標高シールを付近の車止め・カーブミラー・手すり等に貼付
- ・まちづくり秘話や映画やドラマのロケ地情報、クルドサックの解説、写真スポットなどをまとめ、ポイントごとに紹介出来るよう整理し、情報URLをつけて街歩きを楽しむを提供
- ・緯度経度情報も記載 (AOBA+ARTとの連携)



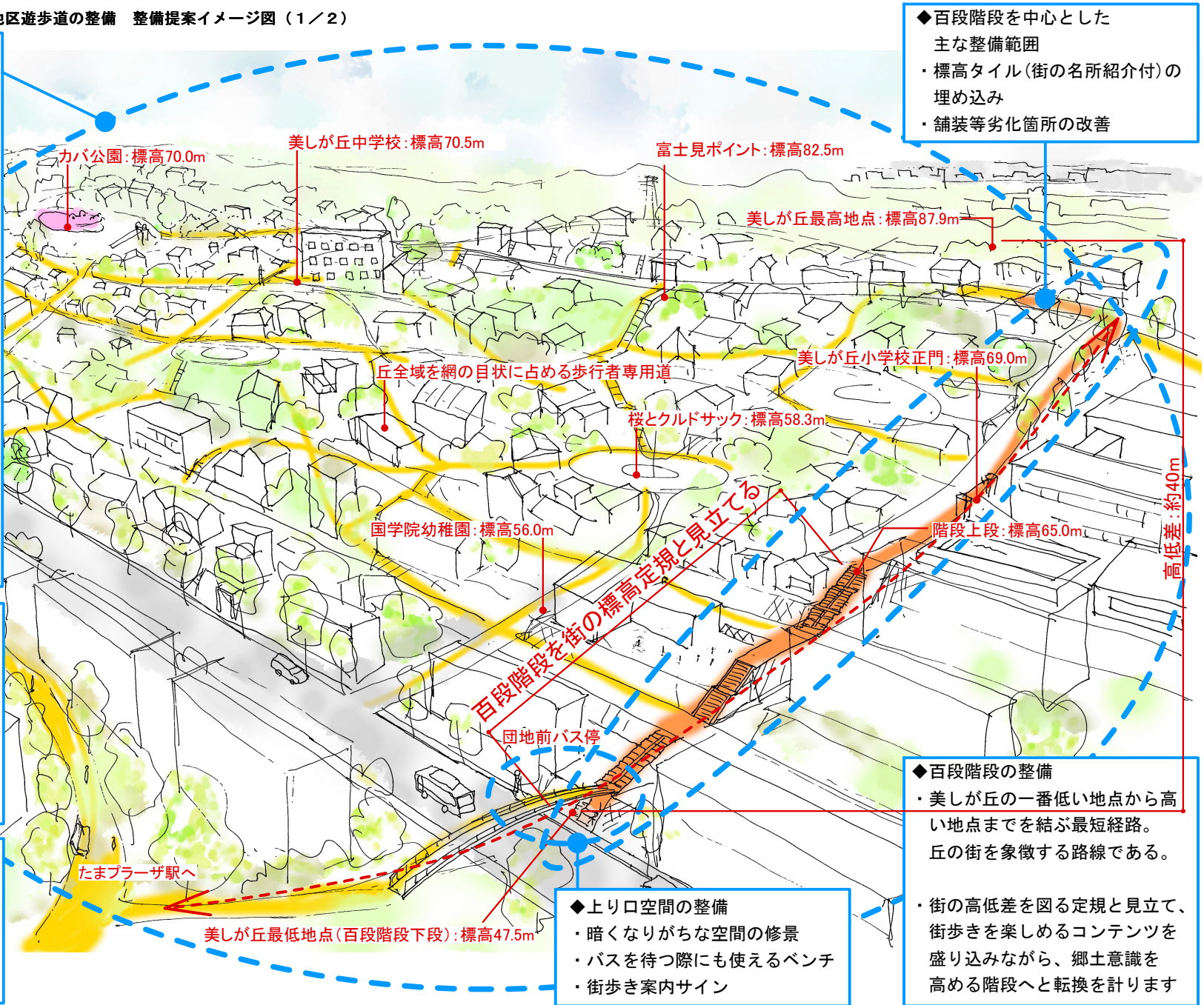
AOBA+ARTでは
ドーナツ公園・滑り台の緯度・経度を
を表示した
(作・谷山恭子)

◆ワークショップ等による

- 取組みを大切にする
- ・街の名所選定や情報整理などはフィールドトリップや住民ワークショップ等を通じて選考
- ・上り口空間の整備や、埋め込みタイ尔のデザイン選定なども地域の話し合いを元に進める

◆整備後の維持管理も重要なテーマ

- ・上り口空間の清掃等／情報コンテンツの維持管理／標高シールの劣化に伴う貼替作業など、整備後のメンテナンス活動は委員会活動に引き継ぐことを想定



- ◆百段階段を中心とした
主な整備範囲
- ・標高タイ尔(街の名所紹介付)の埋め込み
 - ・舗装等劣化箇所の改善

- ◆百段階段の整備
- ・美しが丘の一番低い地点から高い地点までを結ぶ最短経路。丘の街を象徴する路線である。
 - ・街の高低差を図る定規と見立て、街歩きを楽しめるコンテンツを盛り込みながら、郷土意識を高める階段へと転換を計ります

- ◆上り口空間の整備
- ・暗くなりがちな空間の修景
 - ・バスを待つ際にも使えるベンチ
 - ・街歩き案内サイン

■「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備 整備提案イメージ図(2/2)

情報の明示(プレートの貼り付けなど)

百段階段は通学路:
学校に休まずに一年間通うと
富士山を登った計算になります



参照イメージ:
六本木ヒルズ
10周年企画「考えよう。」
街中にメッセージを掲示

国学院幼稚園

美しが丘小学校

標高タイル

ここは〇〇段目

参照イメージ:
岸和田市

標高:〇〇m

- 〇〇公園と同じ高さ
- 〇〇カロリー消費しました!
- 〇〇公園まで行くと更に
- 〇〇カロリー消費できます

※健康づくり歩行者ネットワークと連係させる



コンテンツ例1

ポイントに立つと
自分が日時計になる

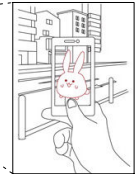
参照イメージ:カルジオイド日時計
Willy Leenders from nl, CC



コンテンツ例2

QRコードなどを使い
街の歴史や
周辺情報などへの
アクセスを容易にします

「ここで〇〇の撮影がされた!」



QRコードから情報取得
参照イメージ:株式会社 ウイズ

たまブラザー駅へ

階段蹴上を使った修景
ランドスケープアートの形成

遠くからでも視認できる蹴上を
使った修景計画を行います



参照イメージ:AOBA+ARTの期間展示(7日間)
蹴上にカラーガムテープを張って百段階段の
イメージを刷新した(作・田園都市建築家の会)

団地前バス停

場の修景・コンテンツの掲示

陸橋下の雑草が生えた寂れた場所を百段階段の入り口ロケット
へと修景。バス停の待合ベンチを兼ねた親和性のある空間を
作ります。

《丘のまちのぼり口》
全部で100段程あると言われてます
数えながら登ってみてください
高低差は約20m
一年間毎日昇り降りすると7300m
ヒマラヤ山脈級の山を登ったことに!



階段状のベンチと緑化階段

参照イメージ:Landscape & Garden Design 創庭

百段階段の高低差:約20m